

「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成20年12月分)について

(12月26日現在)

(1) 問い合わせ件数

平成20年 12月1日～平成20年 12月26日

63 件

(2) 内訳

① 食品安全委員会関係	8 件
委員会	2 件
リスクコミュニケーション	1 件
広報・ホームページ・メールマガジン	5 件
② 食品の安全性関係(注1)	4 件
化学物質系	4 件
③ 食品一般関係(注2)	50 件
化学物質系	10 件
生物系	3 件
新開発食品等	1 件
BSE関係	1 件
衛生関係	27 件
食品表示関係	6 件
その他	2 件
④ その他	1 件

注1) 食品の健康影響評価に関すること、ファクトシートの内容に関すること等、主として食品安全委員会の行う科学的評価に係る事項

注2) 食品一般に関する事項及び表示や衛生管理等、主としてリスク管理に係る事項

(参 考)

食の安全ダイヤルへの質問等のうち食品危害事案関連数
(9月～12月)

食品危害事案	9月	10月	11月	12月	合 計
こんにゃく入りゼリー関連	1	42	0	1	44
メラミン(中国製乳製品等汚染)関連	19	30	8	3	60
事故米穀不正規流通関連	67	13	39	2	121
トルエン(つぶあん、ウインナー)関連	0	4	0	1	5
ジクロロボス(冷凍いんげん)関連	0	4	0	0	4
中国製食品全般	0	5	0	0	5
小 計	87	98	47	7	239
その他	84	111	72	56	323
合 計	171	209	119	63	562

(3) 問い合わせの多い質問等

【食品安全委員会関係】

Q 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター（インタープリター型）育成講座の参加者を募集していると食品安全委員会のホームページに掲載されているのですが、参加資格や講座の内容について教えてください。

A 食品安全委員会では、食品の安全性を確保するための取組みの一つとして、消費者、生産者、事業者、行政などの関係者がそれぞれの立場から相互に情報や意見を交換し理解を深める「リスクコミュニケーション」と呼ばれる活動を推進しています。この活動のより効果的な推進のため、食品のリスク評価結果などの科学情報を分かりやすく伝えることのできる人材（インタープリター*）を育成することが必要と考えています。

本講座では、リスク評価結果などの食品関連科学を扱うことから、当委員会又は自治体主催の「食の安全関連講座」受講者や食品関連事業者など食品に関わる基礎的な科学知識をお持ちの方を対象として実施しております。

また、講座の内容については、当委員会のリスク評価結果の概要とその関連知識を修得していただくとともに、コミュニケーションスキルの基礎を身につけていただくための演習を取り入れたカリキュラムとしています。詳細は次のホームページをご覧ください。

食品の安全性に関するリスクコミュニケーター（インタープリター型）育成講座
http://www.fsc.go.jp/koukan/kouza_jisseki.html

なお、消費者、事業者など様々な食品関係者の立場や主張を理解し、また、意見や論点を明確にするなど、相互の意思疎通を円滑にする役割を担うリスクコミュニケーター（ファシリテーター型）を育成することを目的として、ファシリテーションに関する基礎講座も実施しています。

食品の安全性に関するリスクコミュニケーター（ファシリテーター型）育成講座
http://www.fsc.go.jp/koukan/kouza_jisseki.html

注) インタープリター

原意は「通訳者」、「解説者」ですが、科学コミュニケーションの分野では、科学の重要性やおもしろさ等を理解し、聴衆に分かりやすく伝え、同時に、科学に対する聴衆の思いや感じ方を専門家にフィードバックする人のことです。